

平成29年6月9日

土地・建設産業局 地価調査課

主要都市の地価は85%の地区で上昇基調

～平成29年第1四半期の地価LOOKレポートの結果～

平成29年1月1日～平成29年4月1日を調査対象とした地価LOOKレポートによれば、全体として緩やかな上昇基調が継続しています。三大都市圏に加え、地方都市である札幌、仙台、金沢、福岡では比較的高い上昇が継続しています（上昇は85地区、前期比1地区増）。

今期は、地方圏の1地区（商業地）で横ばいから上昇に転じました。一方、東京圏の2地区（商業地）では、上昇幅が縮小しました。

また、横ばいの地区は15地区で、前期より1地区減りました。

【上昇の主な要因】

- 空室率の低下等オフィス市況は好調
 - 大規模な再開発事業の進捗
 - 訪日観光客による消費・宿泊需要
- 前期から引き続き上記要因を背景に、オフィス、店舗、ホテル等に対する投資が引き続き堅調に推移。

【比較的高い上昇を示した地区】

- 3～6%の上昇(10地区)
宮の森、駅前通（以上 札幌市）、中央1丁目(仙台市)、新宿三丁目(東京都)、金沢駅周辺(金沢市)、名駅駅前、太閤口（以上 名古屋市）、心齋橋、なんば(以上 大阪市)、博多駅周辺(福岡市)

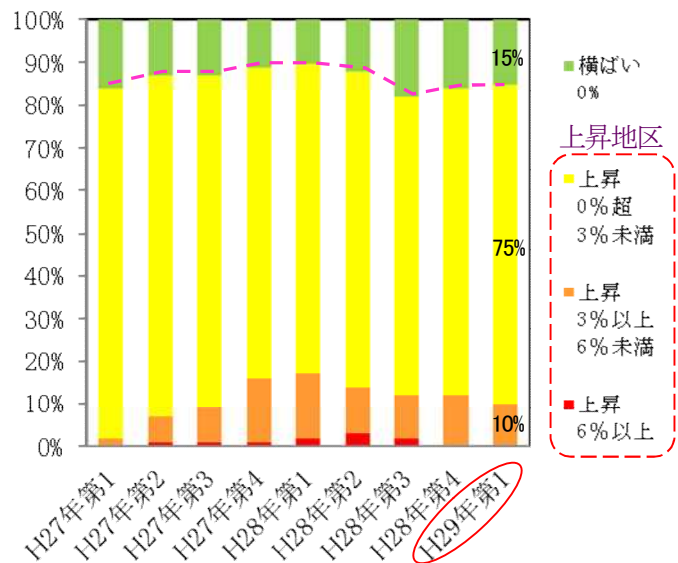
【前期から変化した地区】

- 横ばいから上昇(0%→0～3%)
岐阜駅北口(岐阜市)
- 上昇幅が縮小(3～6%→0～3%)
銀座中央、日本橋(以上 東京都)

※地価LOOKレポート(主要都市の高度利用地地価動向報告)とは

国土交通省が、主要都市の高度利用地等を対象に、四半期毎の地価動向を調査し、先行的な地価動向を明らかにするものです。調査対象は全国100地区で、内訳は以下のとおりです。

■東京圏：43地区、■大阪圏：25地区、■名古屋圏：9地区、■地方圏：23地区



<お問い合わせ先>

土地・建設産業局 地価調査課 地価公示室

主任分析官 吉野(内線 30366)、分析官 相部(内線 30367)、鑑定官 河野(内線 30363)

(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8379 (FAX) 03-5253-1578